

教員の業績

職名		准教授	学位	経済学 修士
氏名	カナ	タカハシ テツヤ	役職名	キャリア支援部 副部長
	漢字	高橋 哲也		
1. プロフィール		日本大学経済学部卒業, 日本大学経済学研究科博士後期課程単位取得退学 日本大学経済学部助手を経て, 東京富士大学准教授 キャリア開発センター副部長を歴任し現職		
2. 主な担当科目		人的資源管理論, キャリアデザイン, インターンシップ 基礎演習, 専門演習		
3. 専門分野		人的資源管理論		
4. 主な研究テーマ		規制と動機づけの観点からの人的資源管理 キャリア教育のゲーミフィケーション化とそのアーキテクチャの構築		
5. 主な研究業績	論文	「人的資源管理論における人間的側面考察の必要性について」経営学史学会『経営学史研究の興亡(経営学史学会年報)』, 2017(論文・査読付き)(単著) 「低賃金労働の抱える課題—ワーキングプアとやりがい搾取を中心に—」日本大学経済学部産業経営研究所『産業経営研究』, 39号2017(研究ノート)(単著) 「人的資源管理論における人間的側面」経営学史学会『第24回全国大会予稿集』2016(論文・学会報告)(単著) 「人的資源管理におけるアーキテクチャ」『経営哲学』経営哲学学会第13巻1号, 2016(論文)(単著) 「就職活動のフロー体験化を促進するメソッド開発—「自己分析」「企業研究」におけるゲーミフィケーションの実践—」東京富士大学学術研究会『富士論叢』第60号, 第1号, 2015(調査報告書)(共著) 「大学生の能力開発のためのアーキテクチャ設計に関する基礎的研究—就活のゲーミフィケーションを手がかりに—」東京富士大学学術研究会『富士論叢』第59号, 第1号, 2014(論文・査読付き)(共著) 「人的資源にみるアーキテクチャ」実践経営学会『実践経営学会研究』No.5, 2014(学会報告論文)(単著) 「クロスオーガニゼーション化する人的資源管理—人的資源及びビジネスプロセスのアウトソーシングとインソーシング—」日本大学経済学部産業経営研究所『産業経営プロジェクト報告書動向調査』第37-1号, 2014(論文)(共著) 「人的資源管理論における日本の雇用慣行とコミットメントの関連性」東京富士大学学術研究会『富士論叢』第58号, 第1号, 2013(研究ノート・査読付き)(単著) 「人的資源管理論におけるアウトソーシングの意味」実践経営学会『実践経営学会研究』No.3, 2011(学会報告 論文)(単著) 「人的資源管理論におけるコミットメントについて—ベストプラクティス・アプローチとアベグレンのみた終身雇用関係を手がかりに—」, 日本労務学会 『第40回全国大会研究報告論集』, 2010(学会報告論文)(単著) 「人的資源管理における人間観 —英国での理論発展を中心に—」経営哲学学会『経営哲学』第6巻第1号, 2009(論文)(単著) 「ドロッカー理論における人的資源概念について」日本大学経済学部産業経営研究所『産業経営研究』第31号, 2009(論文)(単著) 「日本における「人的資源管理」認識に関する考察—英国におけるHRM認識を通じて—」日本大学経済学部『経済集志』, 第77巻第3号, 2007(論文・査読付き) 「意思決定における組織目的への一体化—Simonの諸説を中心として—」日本大学大学院経済学研究科協議会『経世論集』, 第31号, 2005(論文)(単著) 「多重コミットメントと就労意識の変化に関する考察」実践経営学会『第46回全国大会研究報告論集』, 2003(学会報告論文)(単著) 「新入社員教育と初期キャリアに関する—考察—」実践経営学会『第45回全国大会研究報告論集』, 2002(学会報告論文)(単著) 「老舗企業における人材育成 —ナレッジ・マネジメントの視点からの考察—」実践経営学会『第44回全国大会研究報告論集』, 2001(学会報告論文)(単著)		
	その他の研究活動	2014年3月, インターンシップ生の『インターンシップ実習成果報告書』編集 2014年1月, 日本大学経済学部産業経営研究所主催の動向調査報告会にて報告 2013年11月30日実践経営学会関東部会にて研究成果を報告 2013年11月インターンシップ成果発表会を主催		
6. 所属学会		日本経営学会、日本労務学会、産業・組織心理学会 経営学史学会、経営哲学学会、実践経営学会		
7. 主な社会活動、資格、その他		経営哲学学会幹事(2017.9～)		